

科目名 Course Name	音楽セラピー I Music Therapy I			ナンバリング No.	D2-006		
年次	1 年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	川田 将人						
連絡方法	C-Learning で対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(アートセラピーユニット)						
関連 DP	DP3、DP4、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>音楽療法は、ストレスなどで病んだ心や体の症状を改善したり、痛みを緩和し生活の質(QOL)の向上を図る目的で音楽を用いる療法である。この授業では、施設や医療現場などで求められている音楽の効能に関心を持ち、リラクゼーションの手段としてミュージックベルを活用することで、音楽的な教養と豊かな感性を高めることを目的とする。</p> <p>この授業の到達目標は、以下の 3 つである。</p> <p>① 普段の生活の中で、自然と体験している音楽の力を実感し、演奏に必要な基礎知識を適切に使用することができる。</p> <p>② 各楽曲にはどんな癒しの効果があるのか、作品の特徴を述べることができる。</p> <p>③ 楽曲の音楽的効能から作品を選別し、協同でミュージックベルの演奏ができる。</p>						
授業の方法	ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション等を取り入れたアクティヴ・ラーニングの授業形態で総合的な実践力の習得を図る。また、校外授業にて施設での演奏発表を行い、その音楽の効果を体感する。						
学習成果	L01	音楽の要素を認識して、音楽作品の選別と音楽的な基礎教養を身につけることができる。自らの責任感とチームワークとしての協調性を身につけることができる。					
	L02	音楽療法を利用した心身のケアに対し、ミュージックベルの活用ができる。また、音楽を鑑賞する楽しさや幅広い音楽への関心が高まり、豊かな感性を身につけることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	各授業にて事前事後で学習したことを「確認シート」に記入して提出し、毎週フィードバックする。小テストは初回の授業(読譜力の確認:評価の対象ではない)と最終授業で実施する。						
教科書/参考図書	教科書は使用せず、適宜、資料と楽譜の配布をする。						
履修上の留意点やルール等	●私語や居眠りなど授業態度が悪い場合は減点となる。●携帯電話(楽曲を調べる以外)は使用禁止、飲食厳禁である。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験	●実務経験 職種:演奏家 職歴:10 年 施設等における慰問コンサートでの利用者との音楽を介した交流経験を活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業には積極的に参加し、事前事後で学習したことを「確認シート」に記入して提出をする。グループ演習では他の履修者と協力して、演習活動に取り組む姿勢であることを評価する。	20			
レポート/作品	練習過程と校外授業での成果及び振り返りをレポートとしてまとめ(10 点)、期限内に提出(10 点)されることで評価する。	20			
発表	校外授業にて発表を行う。個々の技術と演奏、成果を評価する。		50		
小テスト	短時間で正確な回答であることが 10 点の配点である。		10		
試験					
その他					
合 計		40	60		

回数		授業計画
1	授業内容	授業概要、学習成果、成績評価、授業での諸注意、ミュージックベルについて
	事前・事後学習	演奏の映像を鑑賞する。「確認シート」の記入
2	授業内容	音楽の基礎知識と音楽の活用法① -音符とメロディ-
	事前・事後学習	譜読みの基礎練習をする。
3	授業内容	音楽の基礎知識と音楽の活用法② -和音とハーモニー-
	事前・事後学習	和音の譜読みをする。
4	授業内容	音楽の力と生活 -医療現場での効果-
	事前・事後学習	音楽の効果について事例研修をする。
5	授業内容	ミュージックベルの実践① -奏法-
	事前・事後学習	「ジングルベル」の譜読みと曲の解釈をする。
6	授業内容	ミュージックベルの実践② -実践-
	事前・事後学習	「きよこの夜」の譜読みと曲の解釈をする。
7	授業内容	ミュージックベルの実践③ -応用-
	事前・事後学習	「もろびとこぞりて」「赤鼻のトナカイ」の譜読みと曲の解釈をする。
8	授業内容	ミュージックベルの効果① -医療現場におけるその効果-
	事前・事後学習	クリスマスソング 4 曲の完成を目指して練習をする。
9	授業内容	ミュージックベルの効果② -高齢者施設におけるその効果-
	事前・事後学習	高齢者に相応しい曲(楽曲例)「上を向いて歩こう」「ふるさと」の作品解釈をする。
10	授業内容	音楽活用法① -メロディラインの完成-
	事前・事後学習	担当の音を意識して曲の完成を目指して練習をする。
11	授業内容	音楽活用法② -メロディとハーモニー-
	事前・事後学習	リズムやタイミングに注意して練習をする。
12	授業内容	音楽活用法③ -曲の完成-
	事前・事後学習	演奏発表に向けて曲の完成度を上げるための練習をする。
13	授業内容	校外授業① -演奏発表会-
	事前・事後学習	演奏発表の準備と完成度を上げるための練習をする。
14	授業内容	校外授業② -演奏発表会-
	事前・事後学習	校外授業での演奏実践を通して得た達成感とその現場での効果についてレポートにまとめる。
15	授業内容	小テスト(即時フィードバック)とレポート提出
	事前・事後学習	フィードバックした音楽的知識とその効果について振り返り、個々で復習と整理をする。